



近畿修猷会 2024年度 第5回世話人会 議事録

1. 会議名 :2024 年度 第5回世話人会
2. 開催日時 :2024 年 11 月 8 日(金) 18:30~19:40
3. 開催場所及び方法 :リアル(淀屋橋山上合同法律事務所) 、オンライン 計 20名

4. 議案

審議 1 総会進捗確認と決めるべき事項について

年度世話人 GO猷会 野口代表から11月16日近畿修猷会総会について、現時点で参加者が184名と前年より多く、内 学生が10名との報告があった。これに対し会員サポートチームから、新規入会者に連絡先等個人情報を書いてもらいたいが、受付時に情報入力フォームのQRコードの載った案内を渡し受付後各自スマホから入れてもらうことで総会受付をスムーズにしたいとの提案があり、そのように進めることになった。

その後、次の質疑応答があった。・学生へのコンタクトはどうしたのか?⇒GO猷会メンバーの子ども(学生)に同期のネットワークがあることが判った。・新入会の学生に対する今年度年会費は免除で良いか?⇒免除。・日本酒寄付者の紹介タイミングはいつか?⇒乾杯直後。また、今年は参加費が1万円でお釣りの寄付が期待できないので寄付お願いの声掛けを受付時にしてほしい、高校時代の出身クラブのつながりが強い人が多いので今後そのような席配置にするのもいいのでは との意見が出された。

以上のやり取りの後、総会・懇親会の進行は例年通りに行なうことで承認された。

審議 2 近畿修猷会総会議案書について

遠座代表世話人から第49回総会議案書について、実際の総会では時間の関係もあり概要のみとなるとのことで、事業報告、第1号議案:決算書および監査報告と、第2号議案:次年度事業運営方針及び収支予算(案)について、内容確認のため全文が読み上げられた。また、会計世話人リーダーが遅れての出席だったため会計決算と監査状況も含めて以下の説明があった。

事業報告、第1号議案では、各クラブや世話人会等既活動の発展による組織活性化を図ったこと、3プロジェクトにより重点事項推進を行ない、一部課題も残っているが概ね取組が進んだこと。今年度10月15日迄の途中決算では、寄付金が倍増し支出を抑えたため前年同期より約48万円収支が改善しているがそれでも収入と支出の差額がマイナス28万円あること。

第2号議案では、引き続き組織活性化を行うこと、今後の会員増のため新たな近畿修猷会の価値創造として、人生100年時代のニーズに応えるべくライフキャリアの相談ができるイベント等を試行すること、来年度が会の設立50周年となるため、その記念品制作などのため支出増が見込まれ、寄付金目標を120万円と更に倍増して全体の収支をバランスさせること。

上記の説明の中で、シクミネットでの会費納入トラブルが発生していたとの報告が遠座代表からあり、ICT世話人リーダーからトラブルは既に解消し、実際の会費受領金額についての齟齬は無かったとの説明があった。これに対し、シクミネットの良くないイメ

ージ払拭、DX推進のためにも被トラブル者には丁寧に説明する必要があるとの意見が出された。また、寄付金額が未達の場合に余剰金(繰越金)の取り崩しになるとの説明に対し、今後引き続き会の余剰金をどのレベルに保つことが妥当なのかの議論を続けていく必要があるとの意見が出て、遠座代表世話人より議論を続けるとの説明があった。

以上の議論を行った後、議案書内容について全員意義無く、承認された。

その他 遠座代表世話人から2025年度の会のスケジュールについて資料により紹介と、2025年度クラブ活動助成金申請書類を12月中に各クラブ代表に送るが助成の条件として延べ20名/年の会員参加が必要である旨の説明があった。

最後に、世話人会兼忘年会・当番幹事慰労会について、今年から幹事を行う中原世話人、廣津世話人から12月6日18:30～ 例年どおり がんこ阪急東通り店にて実施すること、その出欠確認手法についてあり、第5回世話人会は終了した。

以上